



として「もしものときのた
めのおぼえ書き」を作成し
ている。ノートとは活用の
タイミングや取扱い方法も
異なるが、ノートの活用の
良さも感じている。作成に
ついて今後、検討する。

藤田裕喜（市政クラブ）

ヤングケアラーを
めぐって

問 家族にケアを要する人
がいるために、家事や
家族の世話などを行って
いる18歳未満の子どものこと
を「ヤングケアラー」と言
うが、市は現状をどのよう
に認識、把握しているか。

答 近年、その問題性が指
摘されるようになって

きていると認識しているが、
介護関係者で行う事例検討
会議にヤングケアラーに関
する問題が浮上することは
現在までなく、把握が難し
い現状にある。

問 現在の市の体制の中で
どのように把握、支援
できると考えているか。

答 保健師やケアマネジャ
ー等が相談窓口業務や
家庭訪問する中で、把握で
きる可能性はあると考えて
いる。ヤングケアラーに接
した場合には、関係機関が
連携して必要な支援策を検
討し、適切な対応につなげ
ていきたい。

問 関係する部署の職員及
び学校の教職員を対象
とした啓発、研修を実施す
る必要があると考えるが、
市の考えを伺う。

答 各種研修会の中で啓発
に取り組んでいきたい。

青山義明（自民党市議員）

コロナ禍の観光・
農業・漁業について

問 コロナ禍における観光
客の状況を伺う。



答 4・5月の宿泊者数は、
前年比で9割超の減と
なった。6・7月も前年比
5割までは回復していない。

問 竹島水族館の入館者数
の状況について伺う。

答 67日間の臨時休業等の
影響で3月から8月ま
での入館者数は前年比で約
73%減の厳しい状況である。

問 市独自の支援策である
農業者支援金及び漁業
者支援金の交付状況を伺う。

答 8月末時点で、農業者
支援金は対象見込み6
75人に対し、交付決定者
は82人である。漁業者支援
金は対象見込み64人に対し、
交付決定者は29人である。

熱中症対策について

問 熱中症による救急搬送
者の状況について伺う。

答 6月から8月までの熱
中症による救急搬送者
数は52人であり、65歳以上
の方は33人で全体の63%を
占めている。発生場所が屋
外の方は17人、住宅等屋内
の方は35人となっている。

大場康議（自民党市議員）

蒲郡市都市計画道路の
長期未整備に関する取組

問 大塚金野線の進捗状況
と事業化の考えにつ
いて伺う。

答 市が県に対して、県道
として整備するように
要望している路線であり、
県からは鉄道事業者や公安
委員会等との協議を進めて
いると聞いている。

事業化については、市と
して県と、県道降格協議等
の調整が必要となり、今後
も円滑に事業化が進むよう、
調整していきたい。

新型コロナウイルス
感染症の第3波への対応

問 インフルエンザとの同
時流行に備えるべく、
市内医療機関との連携につ
いて伺う。

答 今冬の同時流行に備え、
発熱等の症状がある方
の相談先を、各保健所に設
置された帰国者・接触者相
談センター経由から、かか
りつけ医や身近な医療機関
に変更し、10月末までに整
備するよう、厚生労働省か
ら通知が出された。今後、
市内医療機関で両方の検査
を同時に行えるよう準備を
進める。

